

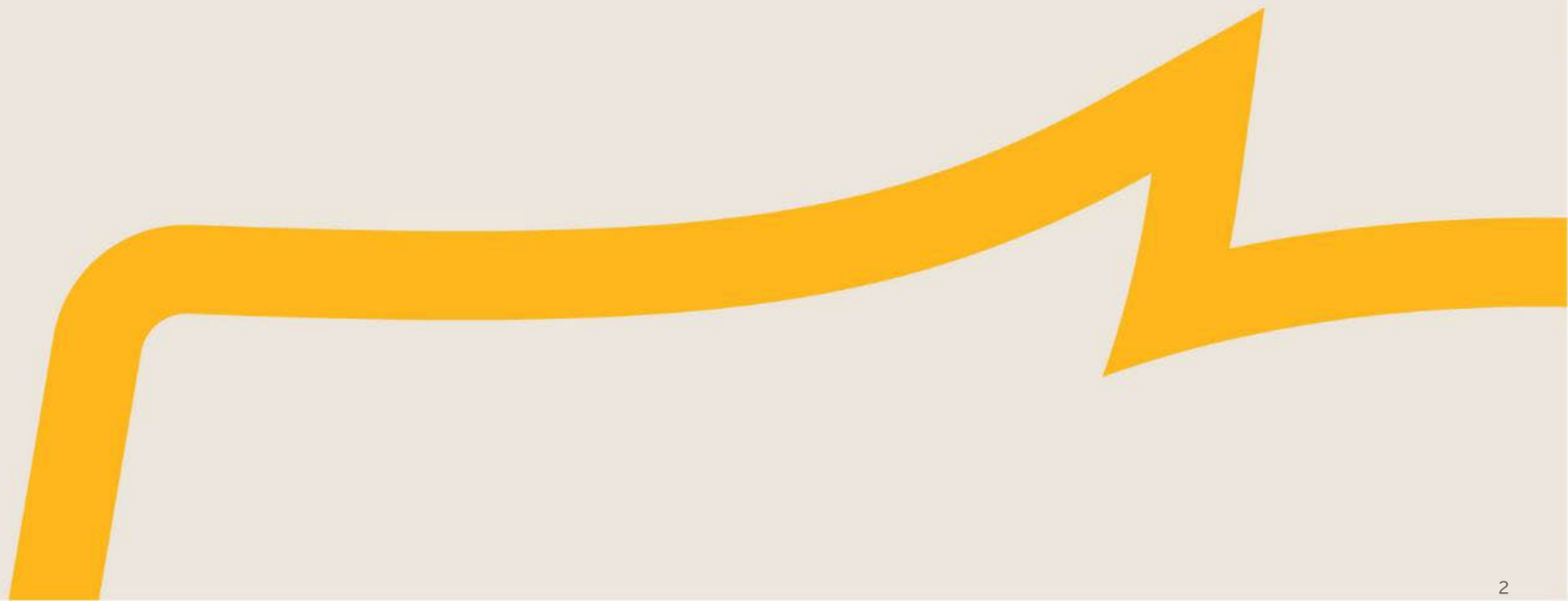
# 2024年3月期 第3四半期 決算短信補足資料

2024/2/6

株式会社ニッスイ



# 2024年3月期 第3四半期決算概況



## 2024年3月期第3四半期 サマリー

- ・食品が日本を中心に好調を継続する中、水産は市況の変調で北米加工や南米養殖が苦戦も、不採算在庫の早期処分等により回復の兆しが見え始め、売上高・営業利益とも過去最高を更新。
- ・政策保有株式の売却などもあり四半期純利益も過去最高益。

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	対前年同期比 増減		2024年3月期 計画 (11月発表)	進捗率 (%)
			増減	増減率(%)		
売上高	5,783 億円	6,254 億円	471 億円	8.2	8,200 億円	76.3
営業利益	233 億円	263 億円	29 億円	12.8	270 億円	97.6
経常利益	259 億円	277 億円	18 億円	7.0	290 億円	95.8
四半期 純利益	185 億円	202 億円	17 億円	9.2	215 億円	94.4

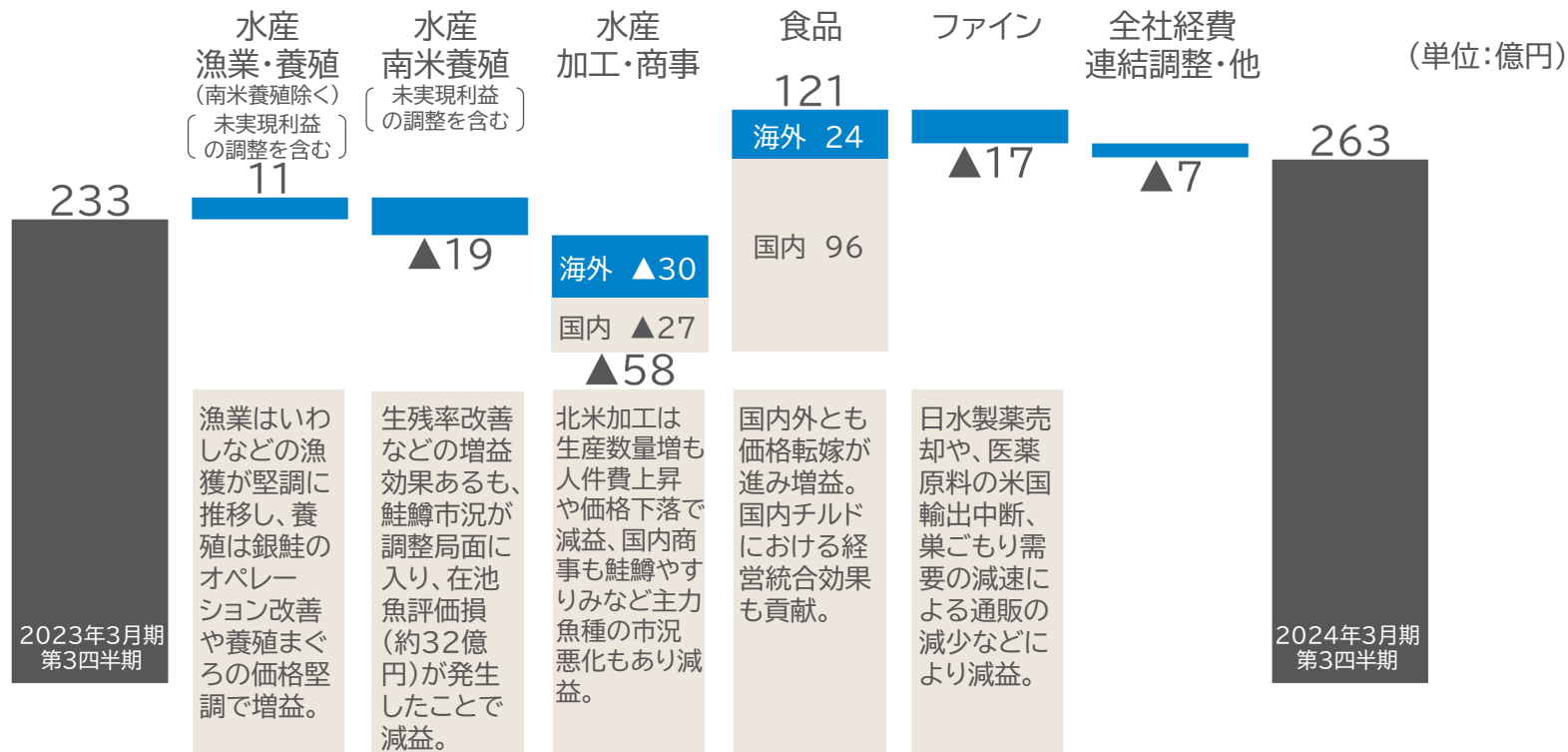
## 2024年3月期第3四半期 セグメント別概況

食品は国内外で業務用が回復したことに加え、円安や値上げ効果もあり大幅増収。  
 ファインケミカルは日水製薬売却の影響により減収。

(単位:億円)	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	対前年同期比増減	
			(億円)	率(%)
<b>売上高</b>	<b>5,783</b>	<b>6,254</b>	<b>471</b>	<b>8.2</b>
水産事業	2,488	2,561	72	2.9
食品事業	2,855	3,326	470	16.5
ファインケミカル事業	212	115	▲97	▲45.8
物流事業	116	117	1	1.1
その他	110	134	24	21.8
<b>営業利益</b>	<b>233</b>	<b>263</b>	<b>29</b>	<b>12.8</b>
水産事業	173	105	▲68	▲39.4
食品事業	93	212	118	126.5
ファインケミカル事業	18	▲0	▲18	—
物流事業	13	13	▲0	▲0.2
その他	5	4	▲0	▲2.2
全社経費	▲70	▲72	▲1	2.1
<b>経常利益</b>	<b>259</b>	<b>277</b>	<b>18</b>	<b>7.0</b>
親会社株主に帰属する四半期純利益	<b>185</b>	<b>202</b>	<b>17</b>	<b>9.2</b>

## 2024年3月期第3四半期 主な営業利益増減要因(前年同期比)

食品は国内外とも価格転嫁が実現し増益。水産は漁業の漁獲堅調や国内養殖の銀鮭養殖拡大が寄与するも、市況が調整局面に入ったことや南米養殖の在池魚評価影響などもあり苦戦。



# 2024年3月期第3四半期 連結貸借対照表(前期末比)

運転資本増加に加え、CVS向けベンダー会社の新規連結もあり総資産が増加。

(単位:億円)

<table border="1"> <tr> <td><b>流動資産</b></td> <td><b>3,431</b></td> <td><b>(+387)</b></td> </tr> <tr> <td>現金及び預金</td> <td>102</td> <td>(▲0)</td> </tr> <tr> <td>受取手形及び売掛金</td> <td>1,228</td> <td>(+271)</td> </tr> <tr> <td>棚卸資産(在庫)</td> <td>1,929</td> <td>(+170)</td> </tr> </table>	<b>流動資産</b>	<b>3,431</b>	<b>(+387)</b>	現金及び預金	102	(▲0)	受取手形及び売掛金	1,228	(+271)	棚卸資産(在庫)	1,929	(+170)	<table border="1"> <tr> <td><b>流動負債</b></td> <td><b>2,131</b></td> <td><b>(+143)</b></td> </tr> <tr> <td>支払手形及び買掛金</td> <td>562</td> <td>(+61)</td> </tr> <tr> <td>短期借入金</td> <td>1,009</td> <td>(+3)</td> </tr> <tr> <td>未払費用</td> <td>332</td> <td>(+74)</td> </tr> </table>	<b>流動負債</b>	<b>2,131</b>	<b>(+143)</b>	支払手形及び買掛金	562	(+61)	短期借入金	1,009	(+3)	未払費用	332	(+74)									
<b>流動資産</b>	<b>3,431</b>	<b>(+387)</b>																																
現金及び預金	102	(▲0)																																
受取手形及び売掛金	1,228	(+271)																																
棚卸資産(在庫)	1,929	(+170)																																
<b>流動負債</b>	<b>2,131</b>	<b>(+143)</b>																																
支払手形及び買掛金	562	(+61)																																
短期借入金	1,009	(+3)																																
未払費用	332	(+74)																																
<table border="1"> <tr> <td><b>固定資産</b></td> <td><b>2,701</b></td> <td><b>(+255)</b></td> </tr> <tr> <td>有形固定資産</td> <td>1,662</td> <td>(+172)</td> </tr> <tr> <td>無形固定資産</td> <td>169</td> <td>(+28)</td> </tr> <tr> <td>投資その他の資産</td> <td>869</td> <td>(+53)</td> </tr> <tr> <td><b>総資産</b></td> <td><b>6,132</b></td> <td><b>(+642)</b></td> </tr> </table>	<b>固定資産</b>	<b>2,701</b>	<b>(+255)</b>	有形固定資産	1,662	(+172)	無形固定資産	169	(+28)	投資その他の資産	869	(+53)	<b>総資産</b>	<b>6,132</b>	<b>(+642)</b>	<table border="1"> <tr> <td><b>固定負債</b></td> <td><b>1,450</b></td> <td><b>(+154)</b></td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td>1,180</td> <td>(+131)</td> </tr> <tr> <td><b>純資産</b></td> <td><b>2,551</b></td> <td><b>(+344)</b></td> </tr> <tr> <td>自己資本</td> <td>2,470</td> <td>(+302)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">自己資本比率</td> </tr> <tr> <td>'23/3</td> <td>39.5%</td> <td>⇒ '23/12 40.3%</td> </tr> </table>	<b>固定負債</b>	<b>1,450</b>	<b>(+154)</b>	長期借入金	1,180	(+131)	<b>純資産</b>	<b>2,551</b>	<b>(+344)</b>	自己資本	2,470	(+302)	自己資本比率			'23/3	39.5%	⇒ '23/12 40.3%
<b>固定資産</b>	<b>2,701</b>	<b>(+255)</b>																																
有形固定資産	1,662	(+172)																																
無形固定資産	169	(+28)																																
投資その他の資産	869	(+53)																																
<b>総資産</b>	<b>6,132</b>	<b>(+642)</b>																																
<b>固定負債</b>	<b>1,450</b>	<b>(+154)</b>																																
長期借入金	1,180	(+131)																																
<b>純資産</b>	<b>2,551</b>	<b>(+344)</b>																																
自己資本	2,470	(+302)																																
自己資本比率																																		
'23/3	39.5%	⇒ '23/12 40.3%																																

## 2024年3月期第3四半期 連結キャッシュフロー(前年同期比)

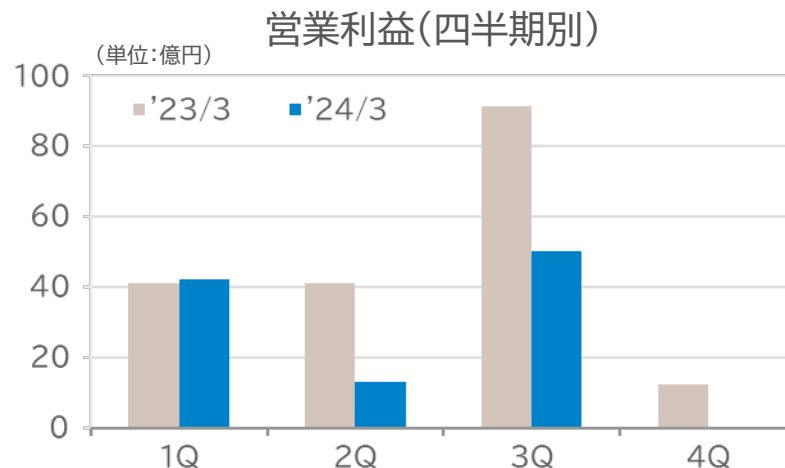
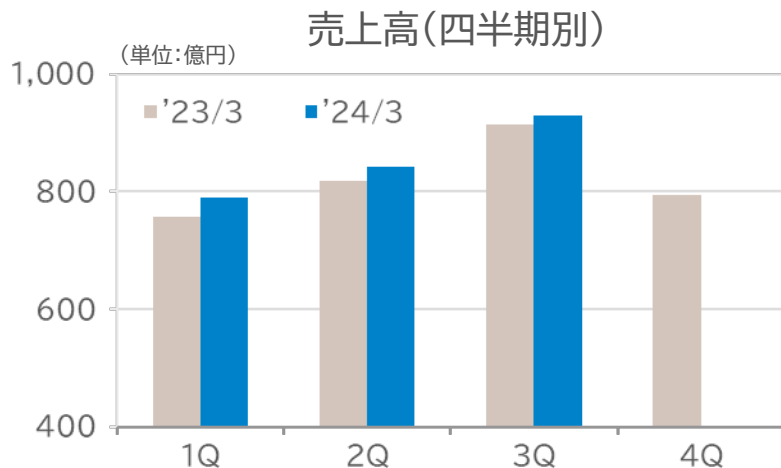
運転資本も落ち着き営業キャッシュフローが改善。

(単位: 億円)	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減
・税金等調整前四半期純利益	261	292	30
・減価償却費(のれん償却含む)	149	166	16
・運転資本	▲ 436	▲ 184	252
・法人税等の支払額	▲ 113	▲ 41	71
・その他	▲ 20	▲ 16	3
<b>営業活動によるCF</b>	<b>▲ 159</b>	<b>215</b>	<b>374</b>
・設備投資額(固定資産取得額)	▲ 159	▲ 206	▲ 46
・その他	▲ 8	▲ 41	▲ 33
<b>投資活動によるCF</b>	<b>▲ 168</b>	<b>▲ 248</b>	<b>▲ 79</b>
・短期借入金を増減額	366	0	▲ 366
・長期借入金を増減額	▲ 9	72	81
・その他	▲ 60	▲ 59	0
<b>財務活動によるCF</b>	<b>297</b>	<b>13</b>	<b>▲ 284</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>135</b>	<b>136</b>	

## 2024年3月期第3四半期 水産事業 売上高・営業利益(前年同期比)

市況が調整局面に入中、国内は不採算在庫の早期処分等を進め回復の兆しが見え始めたものの、南米養殖と北米加工が市況下落の影響で大幅減益。

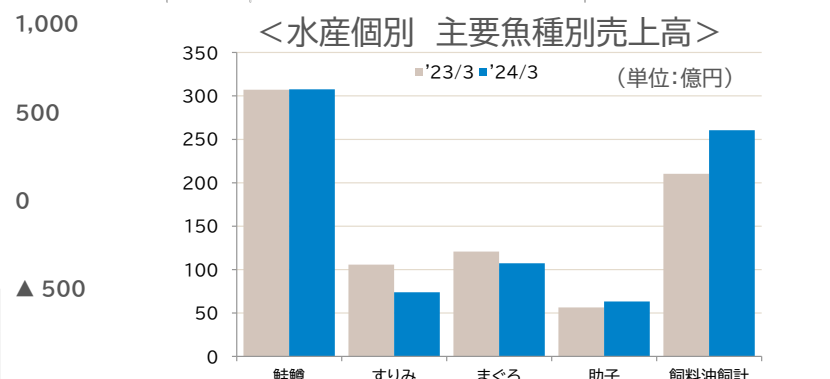
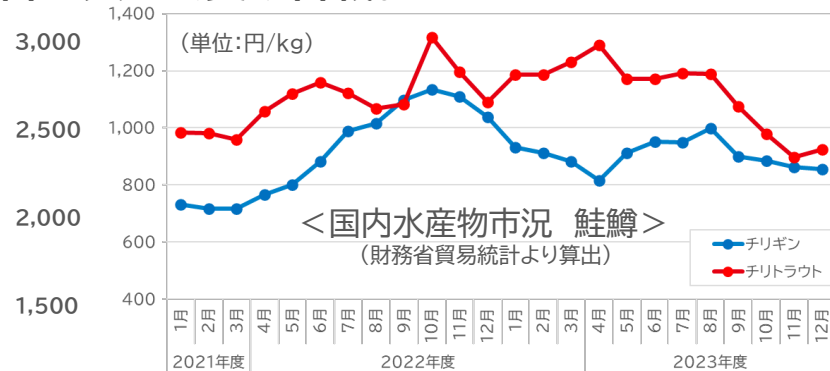
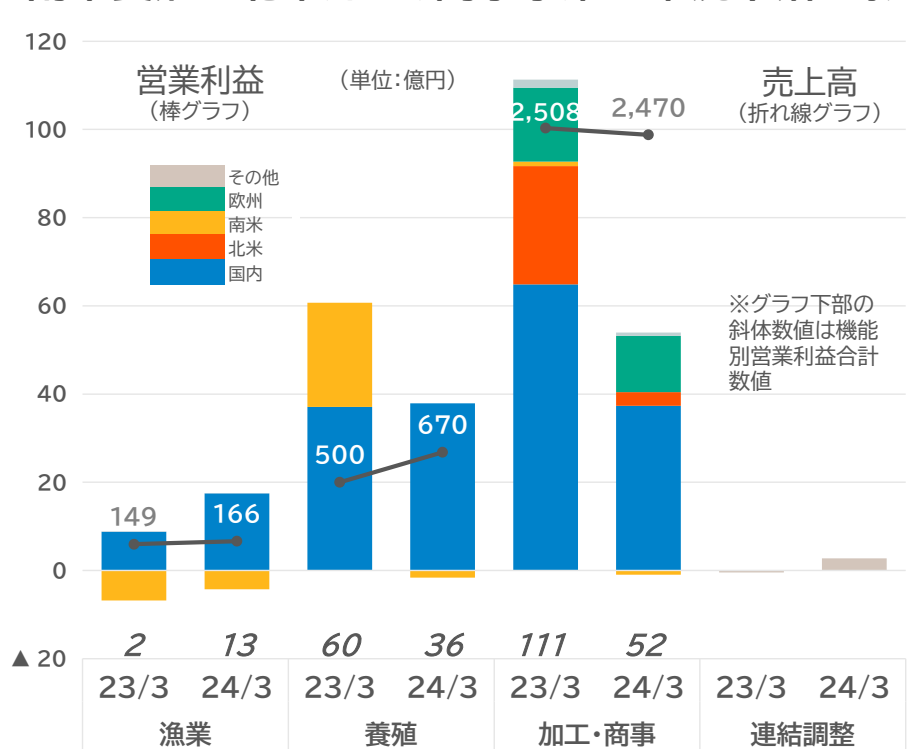
(単位:億円)	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	対前年同期比増減	
			(億円)	増減率(%)
売上高	2,488	2,561	72	2.9
営業利益	173	105	▲68	▲39.4





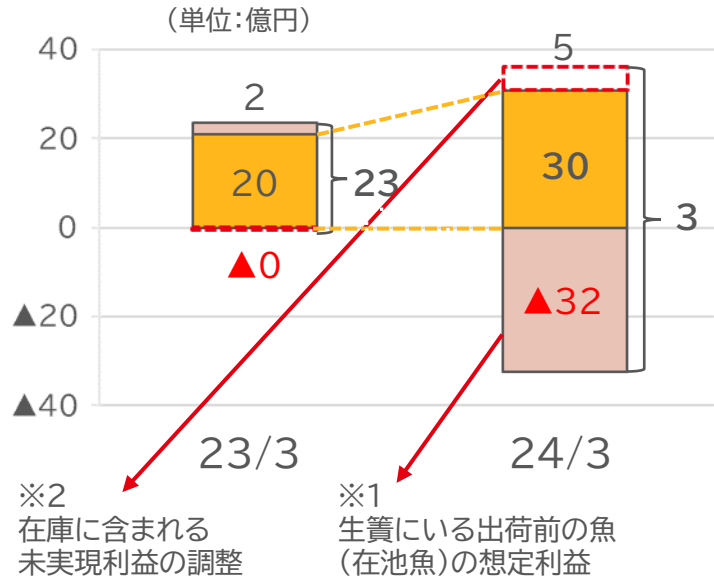
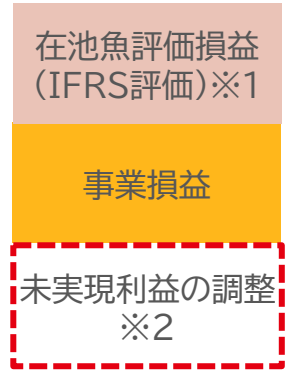
# 2024年3月期第3四半期 水産事業 売上高・営業利益(前年同期比)

- 国内養殖は生育環境やオペレーション改良による養殖成績の改善が進み伸長。
- 南米養殖や北米加工、商事事業は市況下落の影響を大きく受け苦戦。

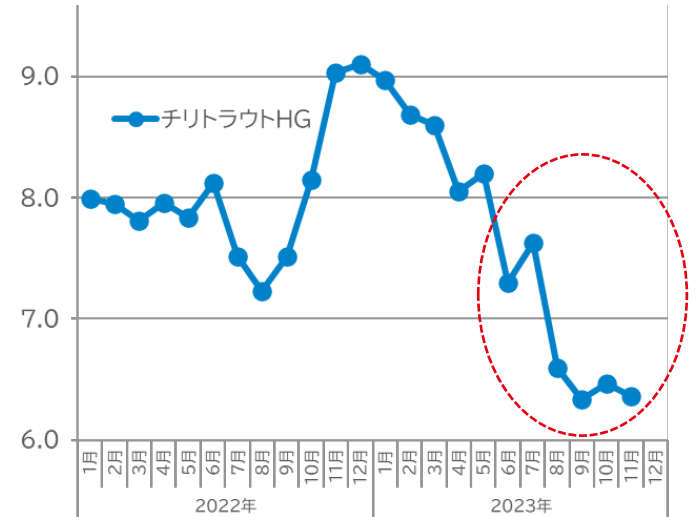


# 2024年3月期第3四半期 南米鮭鱒養殖について

生育環境改良による生残率の改善や販売数量の増加等で事業は順調も、9月にかけて鮭鱒市況が調整局面に入ったことで在池魚評価損が膨らみ減益。



<トラウトHG相場推移>  
(単位:USD/kg)

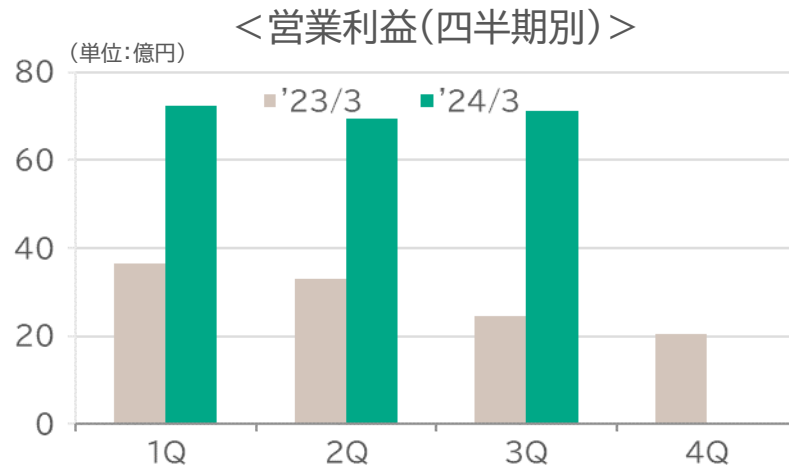
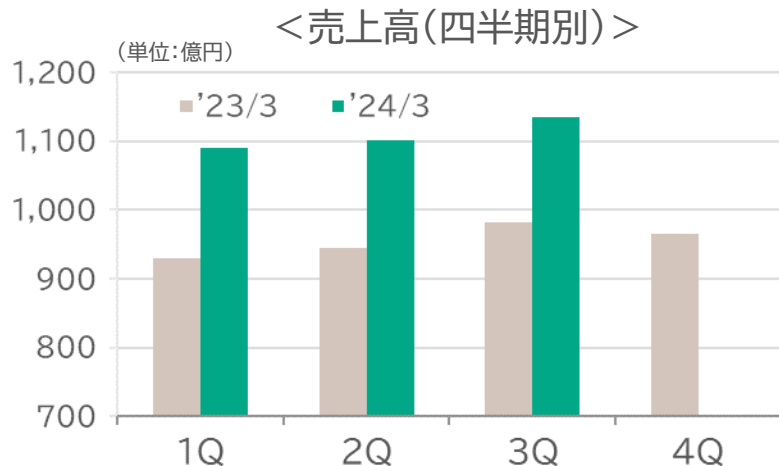


(出典:InfoTrade) (HG:頭と内臓を除去した状態の魚)

## 2024年3月期第3四半期 食品事業 売上高・営業利益(前年同期比)

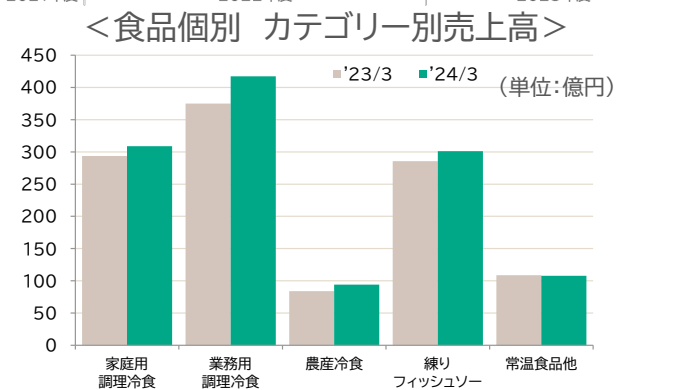
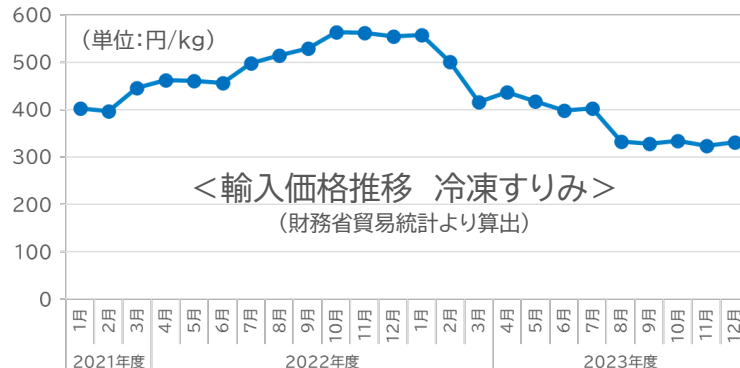
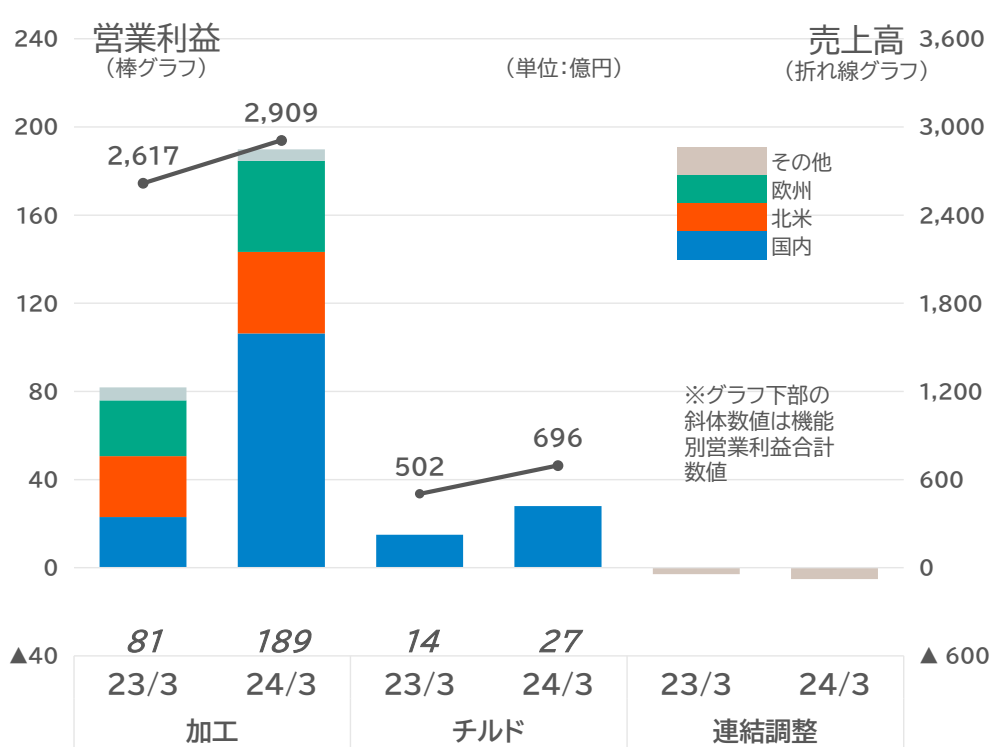
国内外とも販売数量の減少は見られるものの、大幅増収増益。

(単位:億円)	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	対前年同期比増減	
			(億円)	増減率(%)
売上高	2,855	3,326	470	16.5
営業利益	93	212	118	126.5



# 2024年3月期第3四半期 食品事業 売上高・営業利益(前年同期比)

国内外とも人流回復により外食などの業務用が好調に推移し、値上げ効果も継続。欧州はエリア拡大を進め、原料価格低下もあり増益。チルドはCVS向けおにぎりなどが順調で増益。

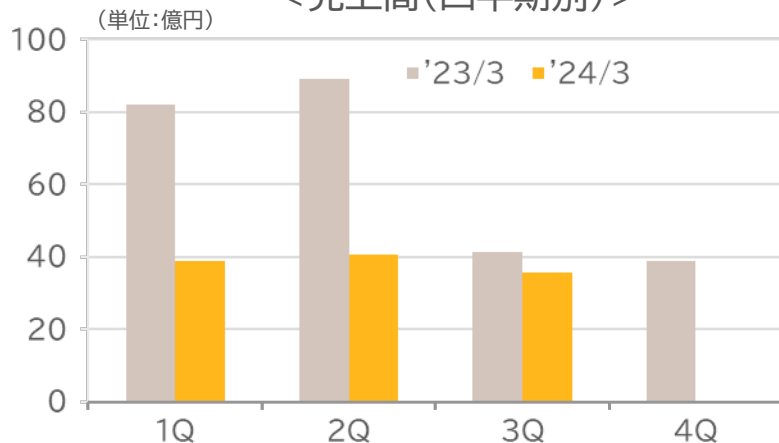


## 2024年3月期第3四半期 ファインケミカル事業 売上高・営業利益(前年同期比)

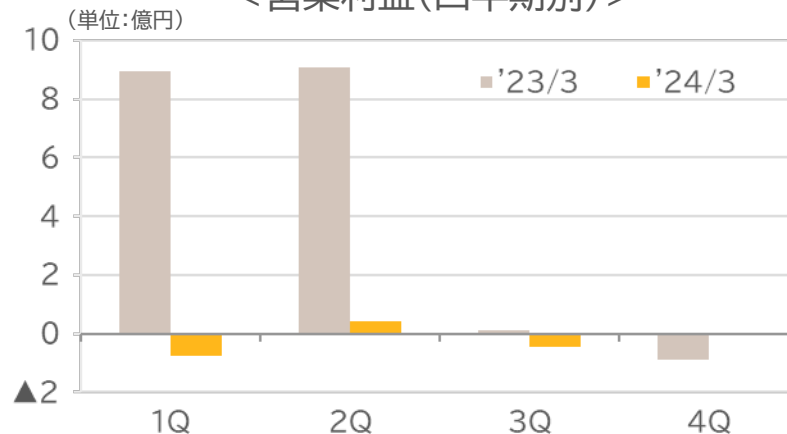
■ 日水製薬売却(2022年9月)による影響に加え、医薬原料の米国向け輸出が前期から中断したこともあり減収減益。

(単位:億円)	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	対前年同期比増減	
			(億円)	増減率(%)
売上高	212	115	▲97	▲45.8
営業利益	18	▲0	▲18	—

<売上高(四半期別)>



<営業利益(四半期別)>

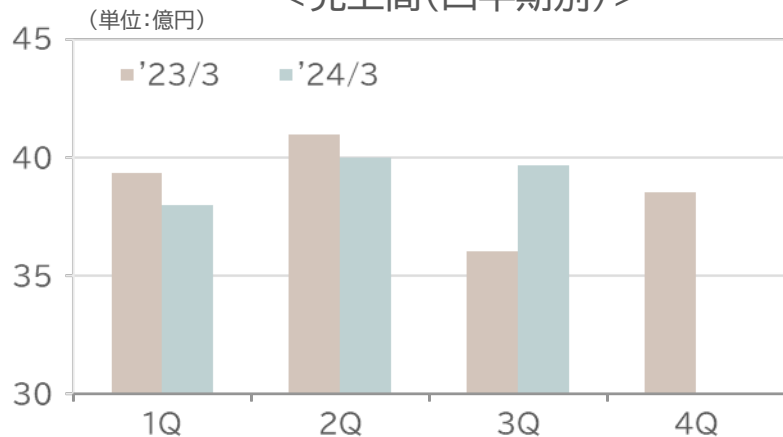


## 2024年3月期第3四半期 物流事業 売上高・営業利益(前年同期比)

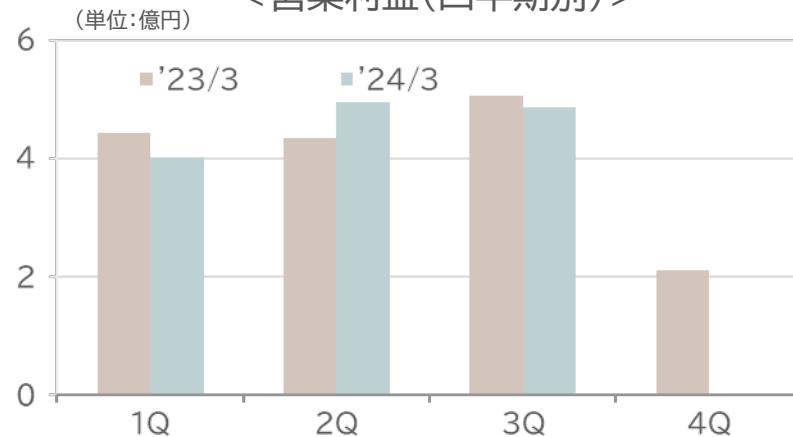
値上げにより収益性は改善したものの、新物流センター(日水物流株式会社南港物流センター)開業の費用が発生し利益は前年並み。

(単位:億円)	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	対前年同期比増減	
			(億円)	増減率(%)
売上高	116	117	1	1.1
営業利益	13	13	▲0	▲0.2

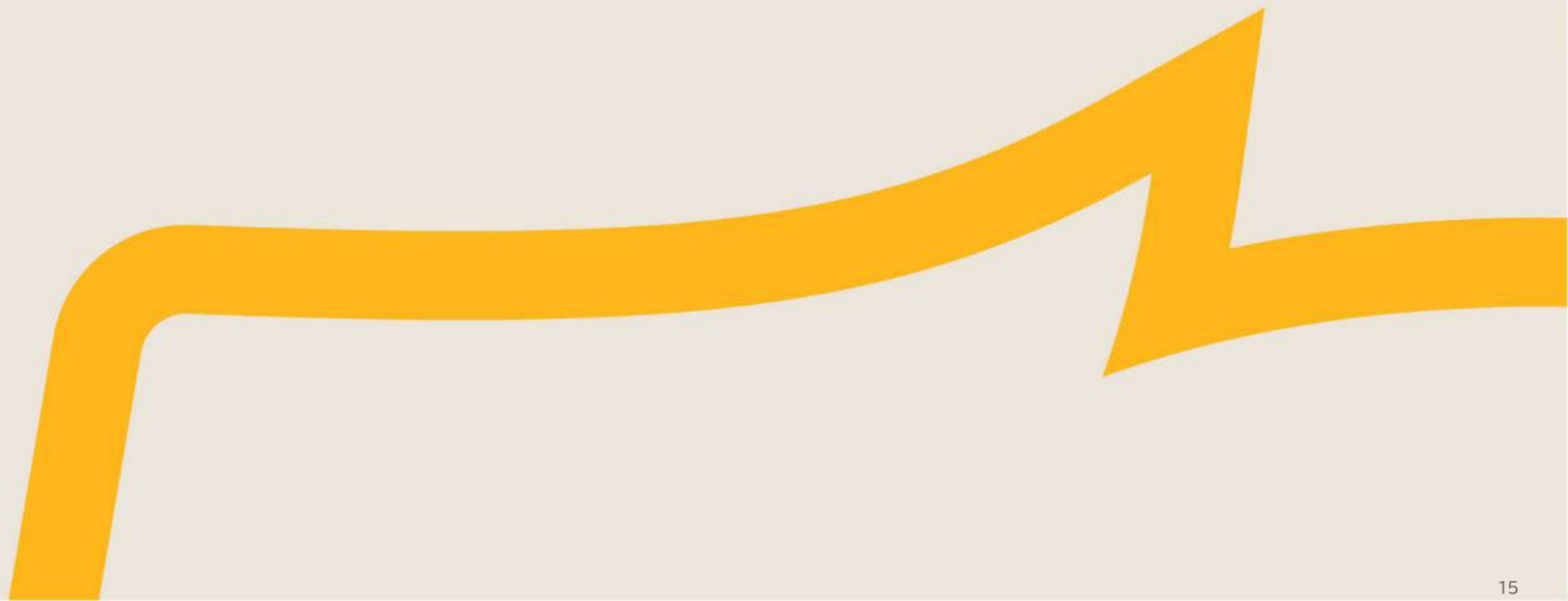
<売上高(四半期別)>



<営業利益(四半期別)>



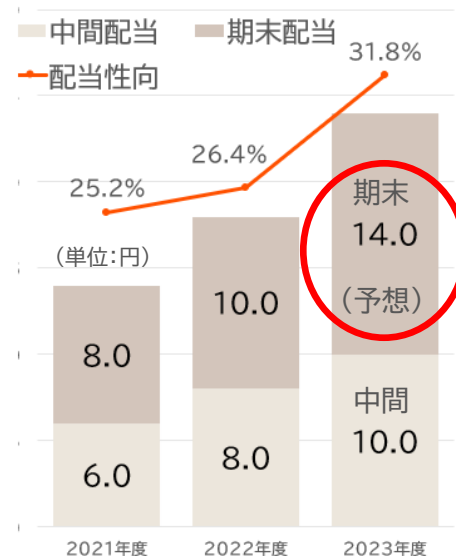
## 今後の見通し・取組み



## 2024年3月期 通期見通し

- ・第3四半期までの業績を鑑みて年間見通しを修正。
- ・期末配当は4円増配の14円、年間では24円(前期比6円増)。

	2024年3月期 修正計画 (11月発表)	2024年3月期 修正計画 (2月発表)	対修正計画 (11月発表)比 増減		2023年3月期 前期実績
			増減	増減率(%)	
売上高	8,200 億円	8,250 億円	50 億円	0.6	7,681 億円
営業利益	270 億円	290 億円	20 億円	7.4	244 億円
経常利益	290 億円	310 億円	20 億円	6.9	277 億円
当期 純利益	215 億円	235 億円	20 億円	9.3	212 億円





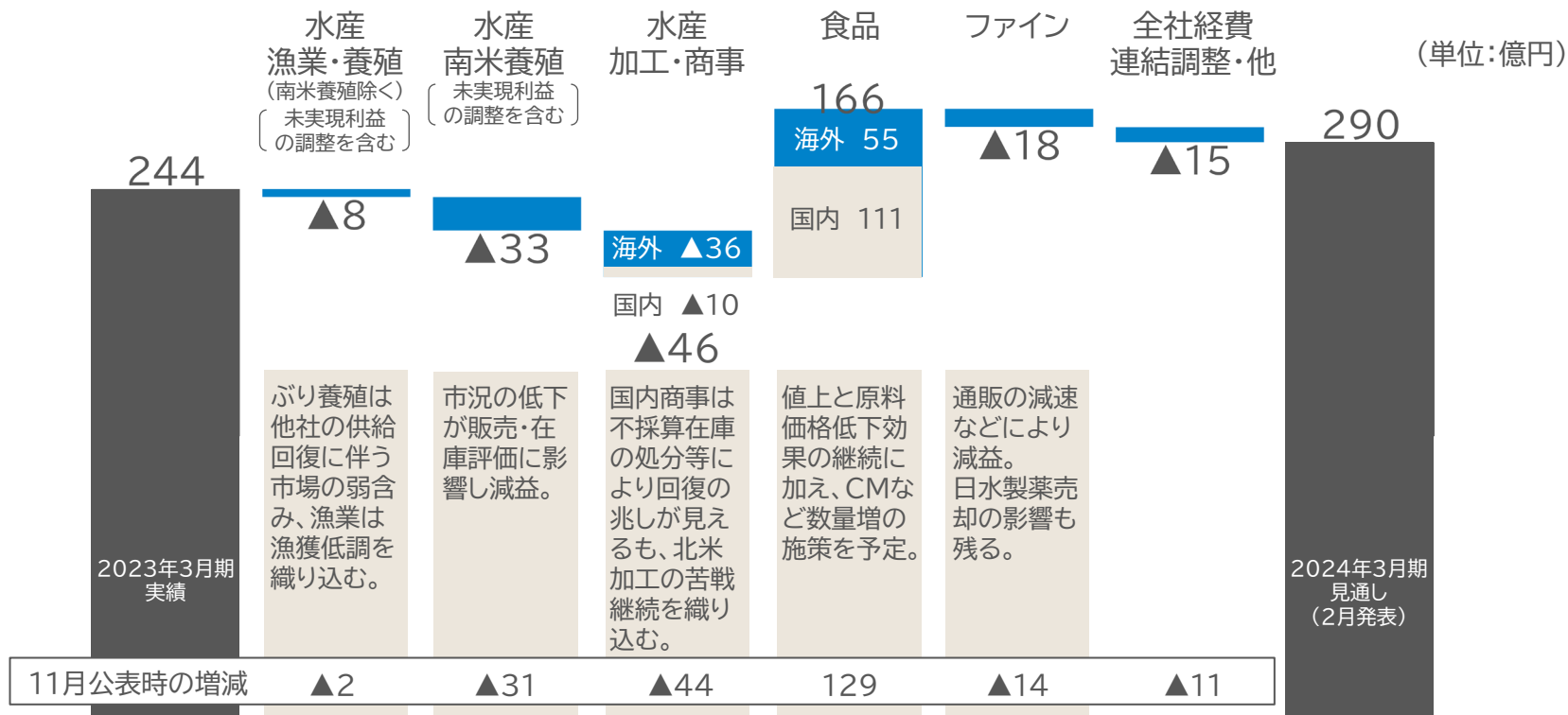
## 2024年3月期 通期見通し セグメント毎の計画を変更

食品は国内外での家庭用・業務用とも値上げ効果などによる収益改善の継続に加え、水産原料の価格低下を見込む。北米加工は市況の回復を見込み難く厳しい状況が続く。

(単位:億円)	2024年3月期 修正計画(11月)	2024年3月期 修正計画(2月)	対修正計画(11月)比増減		2023年 3月期 実績	対前期比増減	
			(億円)	率(%)		(億円)	率(%)
<b>売上高</b>	<b>8,200</b>	<b>8,250</b>	<b>50</b>	<b>0.6</b>	<b>7,681</b>	<b>568</b>	<b>7.4</b>
水産事業	3,272	3,303	31	0.9	3,283	20	0.6
食品事業	4,395	4,416	20	0.5	3,820	595	15.6
ファインケミカル事業	151	154	2	1.6	251	▲96	▲38.6
物流事業	179	169	▲9	▲5.2	154	15	9.7
その他	200	205	5	2.7	171	33	19.6
<b>営業利益</b>	<b>270</b>	<b>290</b>	<b>20</b>	<b>7.4</b>	<b>244</b>	<b>45</b>	<b>18.4</b>
水産事業	110	97	▲12	▲11.4	185	▲88	▲47.4
食品事業	238	274	36	15.2	114	160	140.6
ファインケミカル事業	2	▲0	▲3	—	17	▲18	—
物流事業	14	15	0	4.6	15	▲0	▲3.5
その他	8	9	0	5.4	7	1	18.7
全社経費	▲104	▲106	▲1	1.6	▲95	▲10	10.6

# 2024年3月期 通期見通し 主な営業利益増減要因(前期比)

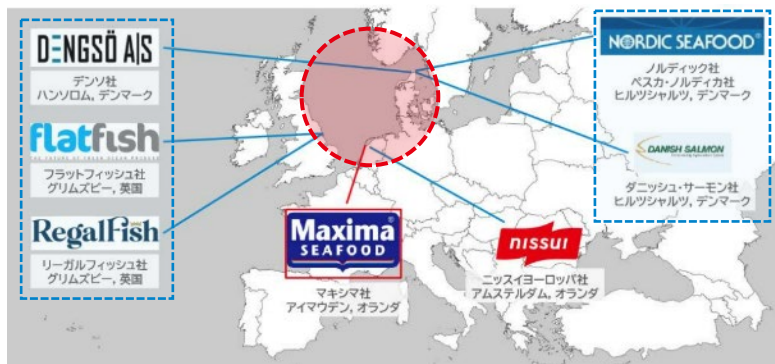
国内外とも値上げが浸透した食品が全体をカバーし増益の見通し。



欧州の鮮魚ビジネスを強化し、水産ビジネスの拡大と高収益化を図る。

- ▶ 英国・デンマークの鮮魚ビジネスにオランダの鮮魚調達・加工機能を持つマキシマ社を加え、水産ビジネスを強化する

- ▶ 日本産水産物の輸出を拡大し、日欧双方のシナジーを最大化する



ー ホタテやぶりなどの日本産水産物の輸出を拡大



健康志向や環境意識の高まりで水産物のニーズが拡大する欧州において、成長を加速する。

# 水産事業の取組み:北米加工事業の取り巻く環境と打ち手

すりみ・フィレ価格下落に加え人件費の高騰が続く環境だが、資源アクセスの重要拠点であることには変わらない。

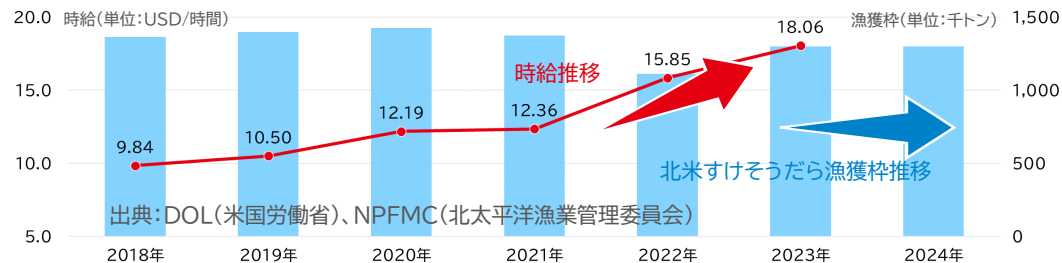
## ▶ 取り巻く環境

- ― すけそくだらすりみ・フィレの市況は、北米すけそくだら漁獲枠維持に加え、ロシア産の増産見込みにより価格は低位で推移する見込み
- ― 加工エリア(ダッチハーバー(アラスカ州))の期間雇用ワーカーの時給は2018年と比較して約1.8倍に上昇

## ▶ 今後の打ち手

- ― 収益性の高いフィレ生産比率の向上
- ― 人員の最適化と残業時間の抑制で労務費削減
- ― すけそくだら資源獲得の取組み強化

＜北米すけそくだらTACとワーカー時給推移＞



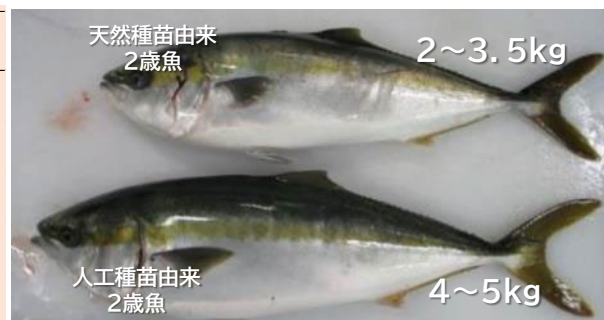
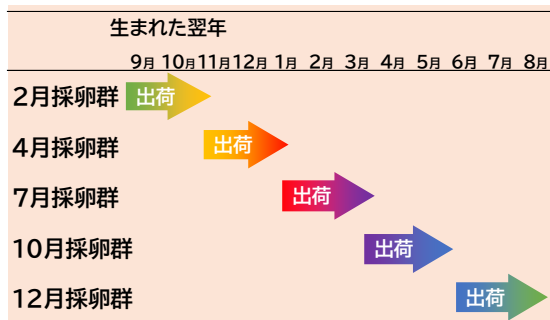
＜北米水産加工事業の位置づけ＞



## 水産事業の取組み:人工種苗の優位性(国内ぶり養殖事業)

端境期でも育種により差別性の高い良質なぶりを供給。

▶ 年間5～6回の種苗導入による、シームレスな生産体制を構築



- 高品質なぶりを通年で販売できることで安定した利益を確保
- 養殖時期を調整することで台風などの養殖リスクを分散
- 出荷サイズとなった各ロットを短期間で売り切ることで在庫期間の短縮を実現

▶ ROIC改善に貢献

差別化できる夏場の販売に注力し、優位性を武器に業績を伸ばしていく

欧米食品の生産能力を増強し、更なる事業規模拡大を図る。(いずれも25年稼働予定)

## ▶ (欧州) 工場拡張工事によるチルド 配送エリアの拡大

- 生産能力を拡大するとともに、配送効率化と包装設備自動化で収益性を強化する



## ▶ (米国) 工場新設

- 生産能力増強投資に加え、原料調達・製品販売の物流効率化、生產品目最適化を図る



水産フライで圧倒的ナンバーワンを目指す体制作りを急ぐ。



## 食品事業の取組み: 2024年春夏新商品

調理の時間を減らし、時間のゆとりを求める簡便志向のニーズに応え、多様化する社会課題を解決していく。

- ▶ ごはんとおかずがセットになったワンプレート商品を拡充し、簡便で本格的な味わいを求めるニーズに対応した商品。



調理の手間が面倒な「カツカレー」をレンジ調理で簡単に喫食できる冷凍食品

全6品をラインアップしシリーズで売り場展開。  
3月からTVCMも投入し、シリーズ認知を拡大していく。

## 健やかな生活とサステナブルな未来を実現する「新しい食」を体現する商品を増やす。

育児中の子どもの食事に対する悩みを抱えている方に向けた商品



「親子にハッピーライフを」  
をコンセプトに、忙しい親子の食生活を  
サポートする『ハピもぐ』シリーズを拡充



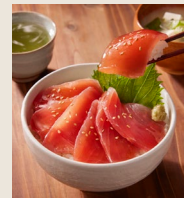
EPA・DHAに加え  
カルシウムも多く含んだ  
チーズかまぼこ商品



持ち手付きの新トレー  
を採用し、食べやすく  
手が汚れにくい  
冷凍焼きおにぎり商品



サステナブルな未来の  
実現を目指す商品



ニッスイグループが調達した  
MSC認証まぐろを使用した  
「漬けまぐろ」が賞味できる商品



世界で医薬品向け高純度EPAを拡大していく。

## 欧州

欧州向け承認申請が概ね準備完了

- 2023年度内にEMAに申請予定
- 2024年度下期からの出荷を想定

## 日本

EPA新剤型の需要拡大に期待



出荷増に対応する生産体制整備

## 米国

出荷再開を待つ

- 販売先の在庫が適正になり次第輸出再開
- 2024年度下期再開に期待

## アジア

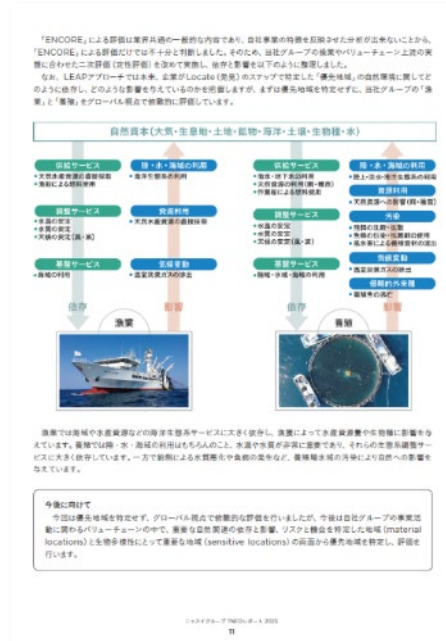
中国市場に向けた申請準備開始

# サステナビリティの取組み: TNFDレポート発行とTNFD Adopterへの登録

事業活動における自然への依存と影響、リスクと機会、それらへの対応策を整理したレポートを発行し、ウェブサイトにも公開。2023年12月にTNFD Adopterに登録。

- 一 「豊かな海を守り、持続可能な水産資源の利用と調達を推進する」ことをマテリアリティの一つとして、これまでも自然環境と生物多様性の保全に取り組んできた。
- 一 TNFD Adopterに登録し、2025年度までに企業報告書においてTNFD提言に基づく開示を行う意向を表明

引き続き、サステナビリティ情報の積極的な開示を通じてステークホルダーとの対話を重ねることで、取組みや開示内容の充実を図っていく。



日本語版: <https://nissui.disclosure.site/ja/themes/89#469>

英語版: <https://nissui.disclosure.site/en/themes/89#469>

## サステナブルな養殖に向けた取組み(次世代養殖システム)


産学が協働して高い生産性と競争力のある養殖業の実現に向けて研究開発に取り組む。

- ▶ 内閣府が実施する「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期/豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」における研究テーマ「養殖事業拡大のための大規模養殖技術の高度化」に参加。27年度までに技術確立や実証試験などを計画。



AIを活用した飼育管理システムにより、陸上に設置した給餌設備から沖合の大型生簀に遠隔操作で給餌するシステムを構築

海洋環境や生態系への負荷を軽減したサステナブルな養殖の実現や、  
効率的・合理的な操業による労働環境の改善を目指す。



変化への対応力を上げ、  
長期ビジョン

「人にも地球にもやさしい食を世界に  
お届けするリーディングカンパニー  
(Good Foods 2030)」  
達成に向けて取り組んでまいります。

## 見通しに関する注意事項

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものであり、これらの達成を保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因により、見通し等とは大きく異なることがあります。その要因としては、市場の経済状況および製品の需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種制度や法律の改定などが含まれます。

従いまして、本資料の利用は、利用者の判断によって行いますようお願い致します。本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識頂きますようお願い申し上げます。



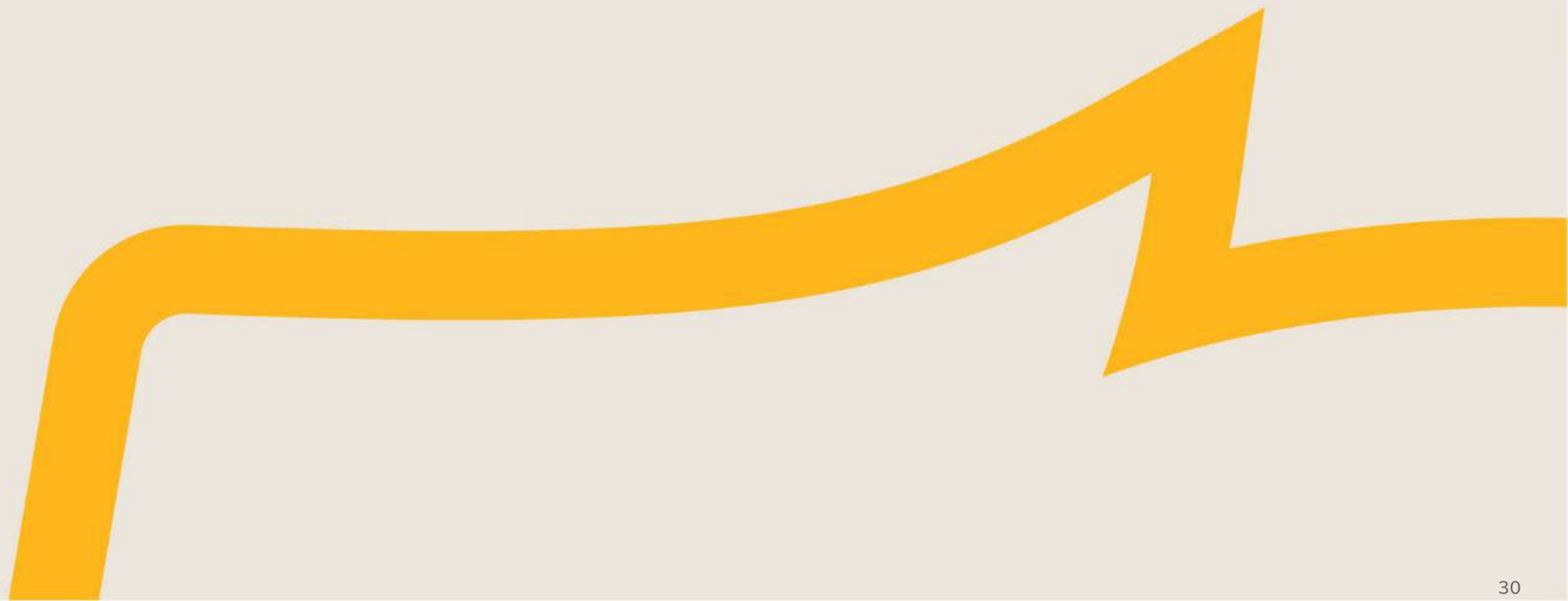
**まだ見ぬ、食の力を。**

株式会社ニッスイ  
証券コード：1332

お問合せ先：経営企画IR部IR課  
03-6206-7037

<https://www.nissui.co.jp/ir/index.html>

## 參考資料



## 2024年3月期第3四半期 連結損益計算書(前年同期比)

(単位:億円)	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減	主な増減要因
売上高	5,783	6,254	471	
売上総利益	920	982	61	
販売費・一般管理費	687	718	31	
営業利益	233	263	29	
営業外収益	39	38	▲ 1	
営業外費用	13	24	10	支払利息+11
経常利益	259	277	18	
特別利益	42	30	▲ 11	投資有価証券売却益+12、受取保険金+10 関係会社株式売却益▲34
特別損失	40	16	▲ 24	災害による損失▲4、減損損失▲18
税金等調整前四半期純利益	261	292	30	
法人税等	62	87	24	
法人税等調整額	6	▲ 3	▲ 10	
四半期純利益	192	208	16	
非支配株主に帰属する 四半期純利益	6	6	▲ 0	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	185	202	17	

## 2024年3月期第3四半期 為替換算による影響額(売上高)、為替レート (連結調整前)

主要在外会社の 為替換算レート	2023年3月期 第3四半期		2024年3月期 第3四半期		前年同期比増減		増減内訳(億円)	
	現地通貨	円貨(億円)	現地通貨	円貨(億円)	現地通貨	円貨(億円)	現地通貨	為替影響
USD(百万ドル)	1,110	1,434	1,144	1,593	34	159	41	118
EUR(百万ユーロ)	304	416	338	510	33	93	44	49
DKK(百万クローネ)	2,727	501	2,426	491	▲300	▲10	▲56	46
その他通貨	—	238	—	266	—	27	8	19
計		2,591		2,862		271	37	233

### 【参考:為替レート】

※右表の為替レートは  
第3四半期の平均

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	変動率
米ドル(USD)	139.35 円	145.58 円	4.5%
ユーロ(EUR)	139.53 円	157.73 円	13.0%
デンマーククローネ (DKK)	18.76 円	21.16 円	12.8%



## 2024年3月期第3四半期 セグメントマトリックス 売上高(前年同期比)

(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	仮計	連結調整	連結 計
水産事業	1,909 (70)	505 (21)	289 (53)	46 (▲4)	556 (6)	3,307 (148)	▲746 (▲75)	2,561 (72)
	1,839	483	235	50	549	3,158	▲670	2,488
食品事業	2,143 (290)	797 (84)		77 (5)	587 (106)	3,606 (486)	▲280 (▲16)	3,326 (470)
	1,853	712		72	480	3,120	▲264	2,855
ファイン 事業	132 (▲96)			0 (▲3)		133 (▲99)	▲18 (2)	115 (▲97)
	229			3		233	▲20	212
物流事業	220 (▲3)					220 (▲3)	▲103 (4)	117 (1)
	224					224	▲107	116
その他 事業	169 (1)			1 (0)		170 (1)	▲36 (22)	134 (24)
	168			1		169	▲58	110
仮計	4,576 (262)	1,302 (105)	289 (53)	125 (▲2)	1,144 (113)	7,438 (533)		
	4,314	1,196	235	128	1,030	6,905		
連結調整	▲765 (▲34)	▲140 (▲14)	▲173 (▲16)	▲89 (1)	▲14 (1)		▲1,184 (▲61)	
	▲731	▲126	▲157	▲90	▲16		▲1,122	
連結 計	3,810 (227)	1,161 (91)	115 (37)	36 (▲0)	1,129 (115)			6,254 (471)
	3,583	1,070	78	37	1,014			5,783

※上段は当期累計実績、下段は前年同期累計実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはグループ間取引による売上高消去が含まれる。

# 2024年3月期第3四半期 セグメントマトリックス 営業利益(前年同期比)

(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	全社経費	仮計	連結調整	連結計	営業利益率(%)
水産事業	92 (▲18)	3 (▲23)	▲6 (▲24)	0 (▲1)	12 (▲4)		102 (▲71)	2 (3)	105 (▲68)	4.1 (▲2.9)
	110	26	17	1	16		174	▲0	173	7.0
食品事業	134 (96)	36 (9)		5 (▲0)	41 (16)		217 (121)	▲5 (▲2)	212 (118)	6.4 (3.1)
	37	27		5	25		96	▲2	93	3.3
ファイン事業	0 (▲16)			▲0 (▲0)			0 (▲17)	▲1 (▲1)	▲0 (▲18)	▲0.7 (▲9.2)
	17			0			18	0	18	8.5
物流事業	13 (▲0)						13 (▲0)	0 (▲0)	13 (▲0)	11.7 (▲0.2)
	13						13	0	13	11.9
その他事業	3 (▲1)			0 (▲0)			3 (▲1)	1 (1)	4 (▲0)	3.7 (▲0.9)
	5			0			5	▲0	5	4.6
全社経費						▲72 (▲1)	▲72 (▲1)	0 (0)	▲72 (▲1)	
						▲70	▲70	0	▲70	
仮計	245 (59)	40 (▲14)	▲6 (▲24)	6 (▲2)	54 (12)	▲72 (▲1)	266 (28)			
	185	54	17	8	42	▲70	237			
連結調整	▲4 (▲4)	1 (1)	4 (4)	0 (1)	▲4 (▲1)	0 (0)		▲2 (1)		
	0	▲0	▲0	▲0	▲2	▲0		▲3		
連結計	240 (55)	41 (▲12)	▲2 (▲19)	6 (▲1)	49 (10)	▲72 (▲1)			263 (29)	4.2 (0.2)
	185	53	17	7	39	▲70			233	4.0

※上段は当期累計実績、下段は前年同期累計実績、右肩括弧内は増減を表わす。

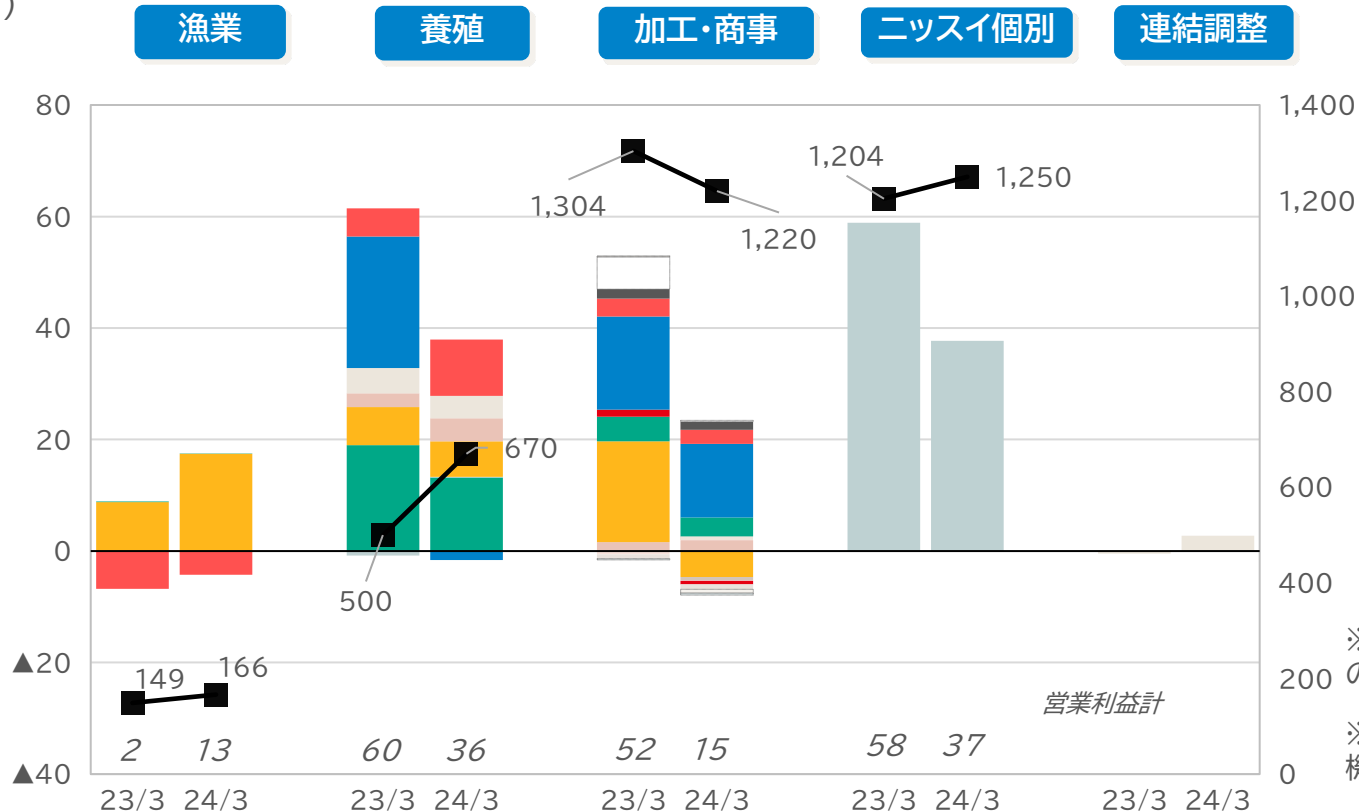
※連結調整にはのれん償却、棚卸資産の未実現利益消去等が含まれる。

# 2024年3月期第3四半期 水産事業 売上高・営業利益(前年同期比)

営業利益(棒グラフ)

(単位:億円)

売上高(折れ線グラフ)



※棚卸資産の未実現利益、のれん償却等含む

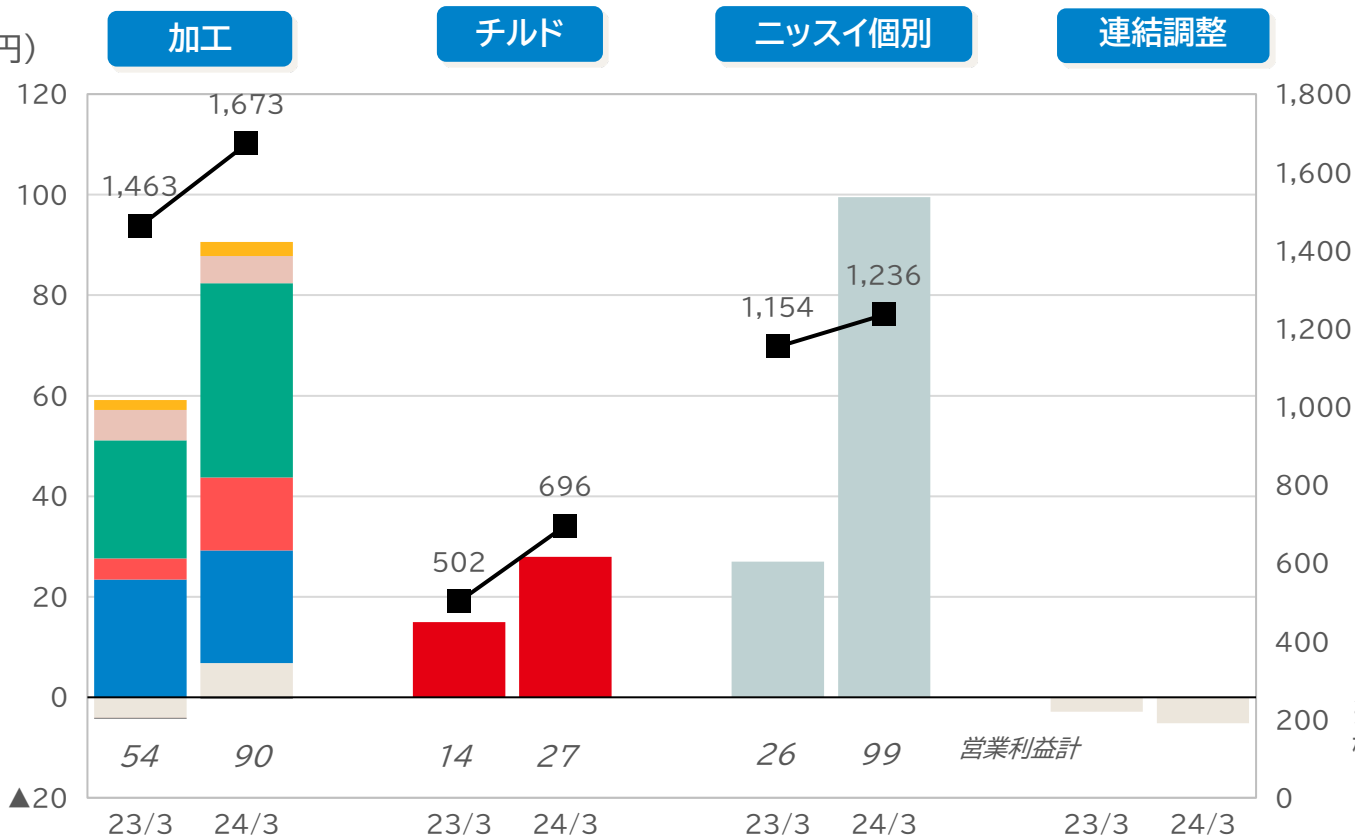
※グラフ下部の斜体数値は機能別営業利益合計数値

# 2024年3月期第3四半期 食品事業 売上高・営業利益(前年同期比)

営業利益(棒グラフ)

売上高(折れ線グラフ)

(単位:億円)



※グラフ下部の斜体数値は機能別営業利益合計数値



まだ見ぬ、食の力を。